

西暦 2020 年の多摩川を記録する運動 オプション計画

2019 年 10 月多摩川大洪水からの河原の植生、景観の復活写真撮影について

2020. 0408

西暦 2020 年の多摩川を記録する運動実行委員会
NPO 多摩川センター 山道

このたび、2020 年度に予定していた「ヒトは多摩川で何をしているか？」調査は、来年 4 月まで延期をしました。2019 年 10 月の台風、洪水による多摩川の河原の変貌とその復活状況を写真に記録する調査は、利用調査のオプションとして計画していたものです。改めて有志を募り、この春から下記の要領で行うことにいたしました。しかしながら、新型コロナウイルス感染拡大のため緊急事態宣言が 4 月 7 日に発令されました。とくに春季の調査は状況に応じ 5 月半ばまでを目安に、夏季調査以降からの参加も可能です。どうぞよろしくご協力くださいますようお願いいたします。

1. 調査の内容と方法

(1) 内容

- ① 洪水で変貌した多摩川の河原の風景や緑の復活状況を写真に記録します。
- ② 撮影は、2020 年の春季（5 月中旬までを目安とする、以下同）、夏季（7 月）、秋季（10 月）、冬季（2021 年 1 月）とし、都合のいい日（できれば晴天の日）に撮影を行います。
- ③ 原則、堤防のキロ杭のある地点で、河原のパノラマ写真（連続写真）を撮り、歩きながら気になる河原の風景写真を撮り、その後も同じ場所を撮影することで、変化を記録していきます。
- ④ この写真記録は、次年度も利用調査とともに行う予定です。西暦 2000 年、2010 年を記録する運動でも同様の撮影をしています。これらの記録をあわせて、20 年の多摩川の変遷をたどる写真集をつくる予定です。

(2) 方法 ※P. 3、「■調査（撮影）の進め方（概要）」もご参照ください

- ① お住いの近くや、よく行く多摩川の場所など、土地勘のある所 2～3 km の区間を決め、別紙アンケートに記入して返送してください（既に、回答された方は不要）。
- ② 撮影場所、区間が決まり、可能な状況であれば 5 月中旬までに第 1 回の撮影をお願いします（状況によって夏季からの参加も可能です）。
- ③ あらかじめ決めた区間の、できれば堤防上のキロ杭（多摩川河口からの距離 km を示した白い杭）からスタートします。区間内の撮影の移動、交通手段等で便利な所からスタートし、移動は上流、下流方向どちらでも結構です
- ④ 撮影開始の場所を記録するため、キロ杭がある場所ならば、最初にキロ杭を撮影してください。

- ⑤ キロ杭の所で、見渡せる範囲の河原の景色をパノラマ撮影（連続写真で可）してください。※決めた区間内のキロ杭（1km）ごとで、同じ撮影をしてください。
- ⑥ その後決めた区間を歩きながら（自転車も可）、河原の復活状況の定点として「目星」を付けた場所（今後変わっていく様子を定点撮影してみたい場所）、4、5点を撮影してください。
- ⑦ 撮影した場所は、地図上にポイントし、次回の撮影の参考にしてください。地図は今年度最後の撮影が終わった時点で、写真の撮影場所を特定するために、事務局に送っていただきます。
- ⑧ 撮影した写真は、可能であれば、その都度、お送りください。デジタルカメラで撮影した画像データは、メールに添付して（1回のメールで10MBまで）事務局までお送り下さい。デジタルカメラやスマートフォンなどをお持ちでない方、撮影や送信方法等、分からない場合は、事務局までお問合せください。
- ⑨ 撮影記録シートに撮影日、撮影者等を毎回記入してください。
- ⑩ 撮影時に用意するもの：カメラ、地図、記録シート（飲み物、雨具などは適宜）

2. その他

- (1) 記録調査に参加される方は、活動保険（傷害）加入のため、各回の参加人数を「記録シート」にてお知らせください。（※熱中症は保険の対象外です）
- (2) 注意点
 - ① 堤防上は、高速自転車や自動車兼用道路などがあり、危険です。自転車や車、堤防上の他の利用者に注意して、舗装面から外れた所での撮影や歩行を心がけてください。
 - ② 「河原の気になる場所」の撮影では、河川敷に降りても構いませんが、安全に充分留意してください。
 - ③ とくに夏季や冬季の調査では、天候や体調に留意し、厳しい天候は避けてください。
- (3) 交通費等は自己負担にてお願いします。撮影や郵送等にかかる実費は、事務局で負担しますが、一時的に立て替えていただきます（原則領収書が必要です）。ご不明な点は事務局にお問い合わせください。

【問い合わせ・連絡・写真データ等の送付先】

〈西暦2020年の多摩川を記録する運動実行委員会〉

事務局：〒150-0001 東京都渋谷区神宮前1-20-14-301

NPO法人 多摩川センター内 電話 03-3479-0166

ファクシミリ：03-5772-1608 E-MAIL: tamagawa@tamagawa-c.jp

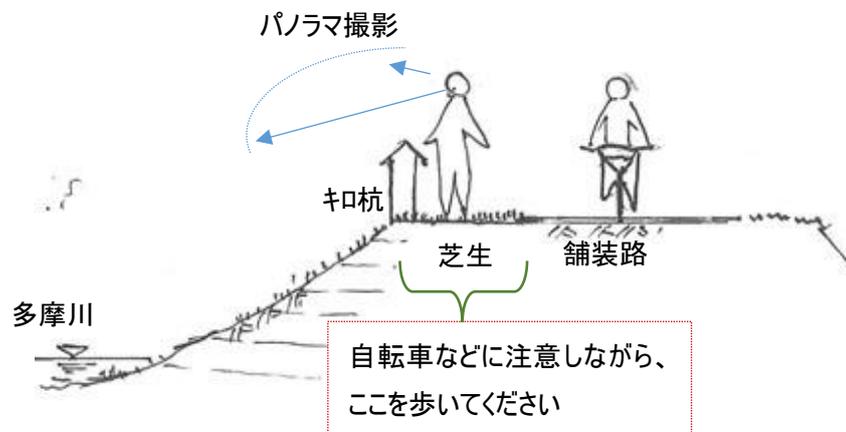
■調査(撮影)の進め方(概要)

- 調査準備(調査地点にも持っていくもの)
: 調査票、地図、時計、デジタルカメラなど、双眼鏡(あれば)、飲み物など適宜

1. キロ杭集合

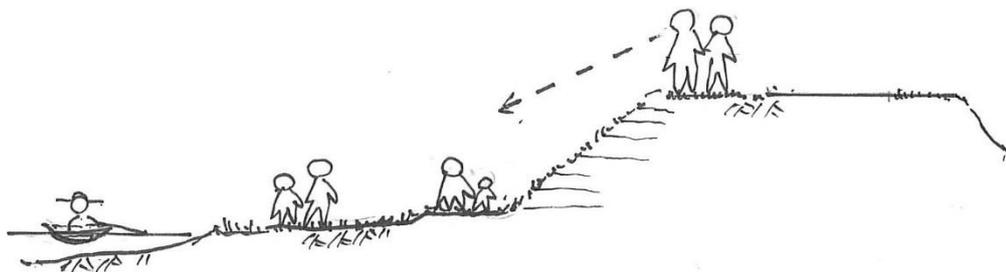


- ① あらかじめ決めた区間のキロ杭からスタート
- ② キロ杭を中心に記念写真(一人の場合はキロ杭のみ撮影)
- ③ キロ杭の所から見える河原の景色をパノラマ撮影(連続写真可)



2. 上流または下流に向かって移動(移動中)

- ① 決めた区間を上流または下流に向かって 1 km 移動
- ② 途中、河川敷内の植生や風景等、気になる場所の写真を数点撮影(撮影ポイントを地図にマークし、毎回の調査時に同じ場所を撮影)
洪水後、植物などが復活していく様子を記録したいと思います。



3. 次のキロ杭へ ※決めた区間内で 1.2.を繰り返す